

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園児が主体性をもって活動出来ているか保育内容を再検討する。
- ・保護者に日々の保育をよりわかりやすく伝えられるよう HP 等を活用する。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	保育計画をより具体化し、無理のない時間配分で保育を進めて行くよう心掛けた。
保育のあり方、 幼児への対応について	園児一人一人に応じた発達があるので、個人目標をたて実践に結びつけた。
保護者への対応について	保護者とのコミュニケーションを十分にとり、幼稚園と保護者が連携をとり園児の成長を見守ることができた。
開かれた幼稚園づくり について	屋上解放などに来園した際に、子どもを遊ばせながら、育児相談も受けられる様にし、沢山の方が相談されるようになった
研修と研究について	職員一人ひとりが、必要とする研修に参加できる様にし、子ども達に寄り添った保育の実践を目指した。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

職員全員が取り組むべき課題に向かい実際の保育に表れているが、より一層の確実性への取り組みを園全体で更に効果的なものにしたい。

5・学校関係者評価

今年度の取り組みについては、良好な運営状態であり、自己評価も積極的に行っているとの意見を頂いた。